

2018年2月6日(火) 日芸学力試験解答例

(配点は当校の推定によるものです)

<英語>

[I] (1)-C (2)-C (3)-B (4)-C (5)-D (6)-D (7)-C (8)-B (各2) 16点

[II] (9)-D (10)-D (11)-D (12)-B (13)-D (14)-B (15)-C (16)-A (各3) 24点

[III] (17)-D (18)-D (19)-C (20)-C (21)-B (22)-D (各4) 24点

[IV] (23) C (24)-D (25)-D (26)-B (27)-D (28)-C (各3) 18点

[V] (29)-C (30)-C (31)-C (32)-D (33)-A (34)-C (各3) 18点

コメント 出題形式と難易度は例年どおり。文法問題はほとんどが基本レベルである。ただし、大問[I]の(7)の動詞 award は他動詞で、主語が芥川賞なので、これを受動形にしなければならないということに気づくのが難しいかもしれない。

読解問題は、設問にまぎらわしいものがほとんどないので、本文の概要が理解できれば解ける問題である。大問[IV]の(27)は、atmosphere のようにはっきりととらえ難い対象を「表現」という場合は watch ではなく、capture を用いる。

<国語>

I 問一 a 1 b 6 (完答) 問二 4 問三 3 問四 2 問五 3 (各5) 25点

II 問一 3 問二 2 問三 2 問四 4 問五 3 (各5) 25点

III 問一 I 8 II 6 (完答) 問二 ア 1 イ 4 問三 2
問四 4 問五 a 1 b 1 c 2 問六 3 問七 3 (各3) 30点

IV 問一 2 問二 5 問三 a 2 b 6

【配点】問一 4点、 問二・三 (各2点) 6点、 計10点

V 問一 a 4 b 3 c 4 d 3 問二 a 3 b 4 c 2 問三 1

【配点】問一・二 (各1) 7点、 問三 3点 計10点

コメント 現代文2題・古文1題・文学史1題・漢字語句問題1題という大問構成はいつも通り。現代文の問題難易度は、ともに日芸としては「標準」的なレベル。古文問題は、文章読解がしやすく近年の中では「やや易」のレベルであろう。文学史問題・漢字語句問題の難易度は、日芸の「標準」レベルと思う。総じて、少し得点しやすかったのではないかな。